

県民あんしん共同太陽光発電事業 設置施設 担当者の声

地域の方の
お役に立ちたい！

特定非営利活動法人ぶどうの会
オアシス作業所（就労継続支援B型）
狭山市
太陽光発電設備等の設置日 2023年2月



Q 施設の概要を教えてください。

A 当施設は、2011年4月開所の就労継続支援B型事業所で定員は37名です。地域の中で心身障害者の方々が、仕事を通して、生き生きとした日常生活または社会生活を営めるように支援を行っています。

Q 県民あんしん共同太陽光発電事業に応募したきっかけを教えてください。

A 以前から、建物の立地が太陽光発電に適していると考えていました。予算に余剰ができそうだったことから、設置することを決め、補助制度がないか探したところ、県の補助事業があることを知り、問い合わせました。



吉野 修平 代表理事

Q これから太陽光発電設備と蓄電池をどのように活されていきますか。

A 太陽光で発電した電気は、まず、自家消費しています。余った電気は蓄電します。天気の良い日は、発電が自家消費を上回るため、現在は蓄電容量いっぱい蓄電されています。

災害時には、施設全体の電気が使えるので、地域の方に施設に来てもらい、設備なども使ってもらえると考えています。

Q 災害時に施設を開放することに不安はありませんか。

A 日頃から、地域の方とは、イベントなどを通じて交流しています。施設も開所時間中はオープンな環境で作業をしています。また、地域の方のために、家庭や事業所で不要となった段ボールや古新聞、空き缶を回収し、分別して業者に引き取ってもらう事業も行っています。

災害時に地域の方の役に立てるといことがとにかくうれしく、不安はありません。

Q 設置を考えている施設の方へメッセージがあればお願いします。

A 電気代が高騰している中、電気料金に左右されることなく電気を使えるのは、施設にとってありがたいことです。それだけでなく、地域の方のお役にも立てる事業です。

予算の使い道として、施設整備を考える際は、県の補助金も活用し、是非、太陽光発電設備、蓄電池の導入を検討してもらいたいと思います。



太陽光パネル（補助対象設備）



蓄電池（補助対象設備）